

# ファーストトーク講座 ケーススタディルール

受講生が試験時にケーススタディ報告書を正しく提出できるよう、担当講師は授業の際に説明してください。

▶提出に関して…実技試験合格後、試験官へ郵送。

▶提出内容…

- ・表紙
- ・ケーススタディ報告書No.1（プログラム用紙計3枚）
- ・ケーススタディ報告書No.2（参加者プロフィール他）
- ・ケーススタディ報告書No.3（セラピストの感想他）

※まとめて左上にホッチキス留めをする

▶ルール

<対象者>…

- ・2歳半～4歳未満のお子様とそのママを対象とする。
- ・各ケーススタディの参加親子は、3組以上で行う。  
(ご兄弟で参加の場合は対象年齢内であっても1組としてカウントする)
- ・家族、ファーストトーク有資格者、受講中の方をケースモデルにするのは不可。

<開催回数・日程について>

- ・全3回開催する。
- ・開催の間隔は中2日以上あけ、1ヶ月以内に行うこと。  
※その間、家庭でも実践してもらうように促す。

<レッスン内容（テーマ）について>

- ・テキストP36「ファーストトーク教室 進行例」を参考に、自由にテーマを決めて、構成を練り、教室の流れを記入する。
- ・レッスン内容（テーマ）は毎回同じものでも、違うものでも可とする。
- ・家族をケースモデルとするのは不可。

▶その他

- ・1回目が試験日より6ヶ月以上前のケーススタディは無効とする。
- ・報告書に不備があった場合、試験に合格してもケーススタディを再提出するまで、ディプロマの発行ライセンスの発行を見合わせる。